

黎明期 (2016年) を拓く元年

ふくしま再生短信

2016 1 / 1 新春特別号 (第11号)

【菅野宗夫撮影：1月1日虎捕山頂から初日を望む】



夜明け前の虎捕山

飯館村を訪ねたときに通常立ち寄るのは山津見神社の拝殿である。拝殿は2013年4月に全焼したが昨夏再建された。消失したオオカミの天井絵240枚は和歌山大学と東京藝術大学の協力で今年復元を終える。本殿は拝殿の横から虎捕山を登りつめた標高705米の山頂にある(上の写真は夜明け前の虎捕山頂から)。

2016年1月1日、宗夫さんからビッグなプレゼントが届いた。虎捕山頂から初日の出の撮影に成功との写真入り賀状である。

「田尾さまへ 早朝 寒さの厳しい中。虎捕山頂は背から吹き寄せる雪混じりの寒風(中通り地方は暗闇) 凍える動かぬ痛い手で.....でもなんとも言えぬ感動が.....なんか飯館村のこの黎明期になんかせねば~よろしくお願ひします。」続いて次報が入る。「遅くとも来年に解除にといわれてる中、今年「黎明期(2016年)を拓く元年」...と位置づけ、みなさんと共に今までの再生の会活動の継続拡大をはかりつつ 営農再開にもチャレンジしたいと考えてます」という。虎捕山頂には山津見神社のご本殿がある。祈りからよろこびへ。2016年。黎明期を拓く元年が明けたことを共によろこびたい。(撮影と題字原稿：菅野宗夫、本文文責：若林一平)

山津見神社

山津見(やまつみ)は山の神である大山津見神(おおよまつみのかみ)に由来する。山の神の御眷属様(ごけんぞくさま)は白狼(オオカミ)である。源頼義が橘墨虎(たちばなのすみとら)を討ち取ったときに山の神が「虎」退治を助

けるために遣わしたのが白狼であった。山の神の威徳を称えるために頼義が創立した祠が山津見神社の起源である(1051年)。秩父の三峯神社、青梅の武蔵御岳神社、も同じオオカミ信仰で知られる。オオカミは、ご神犬、御眷属様とも呼ばれ、あらゆるものを祓い清



め、さまざまな災いを除くと言われる。(上の写真は山津見神社拝殿正面)